

経営比較分析表（平成30年度決算）

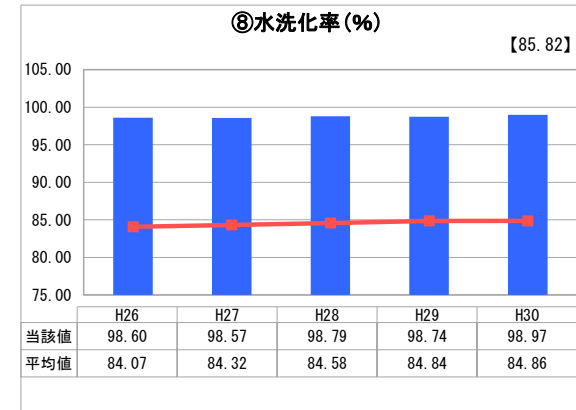
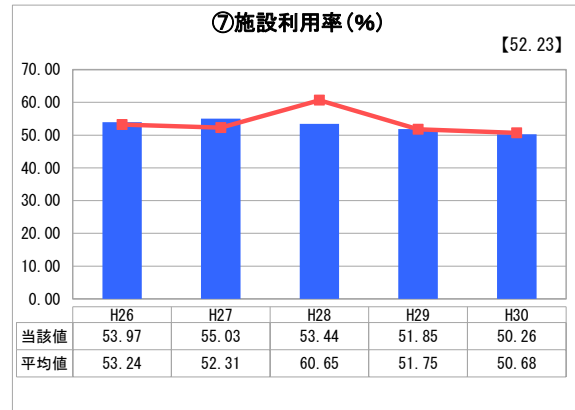
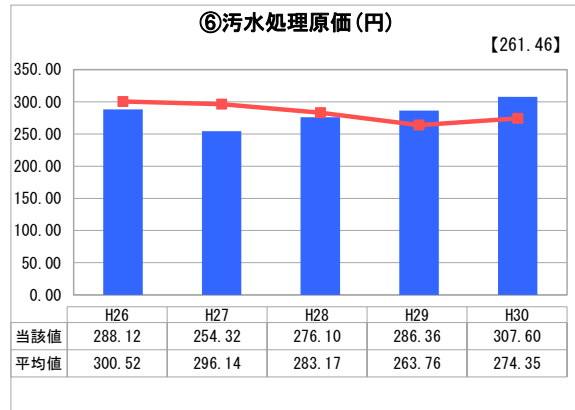
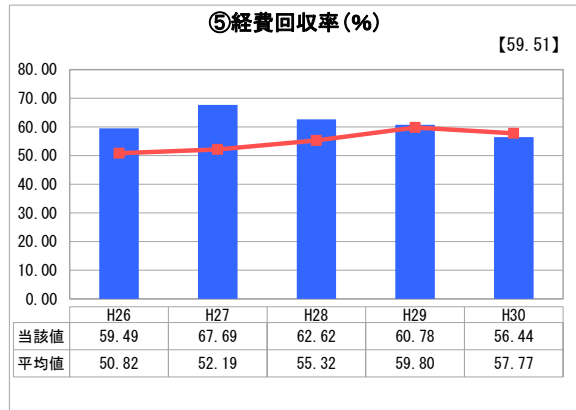
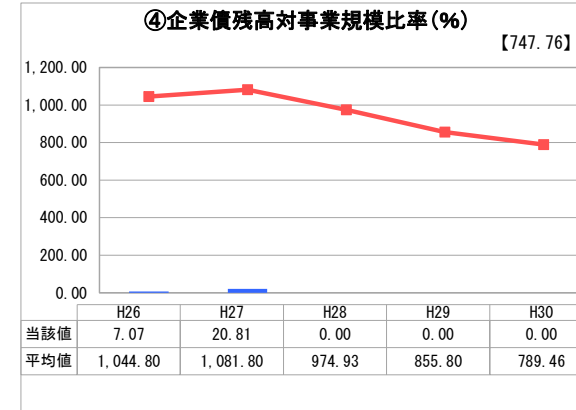
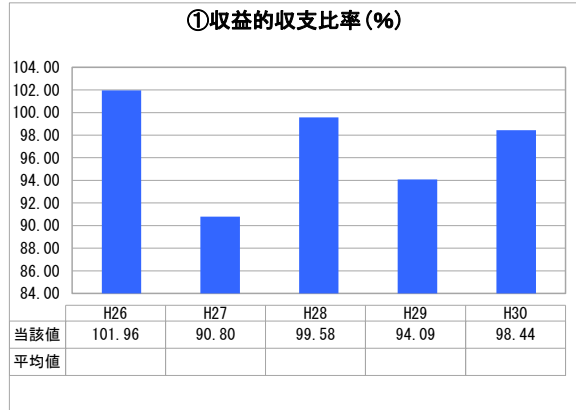
岐阜県 瑞穂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.71	100.00	3,348

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
54,686	28.19	1,939.91
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
387	0.10	3,870.00

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

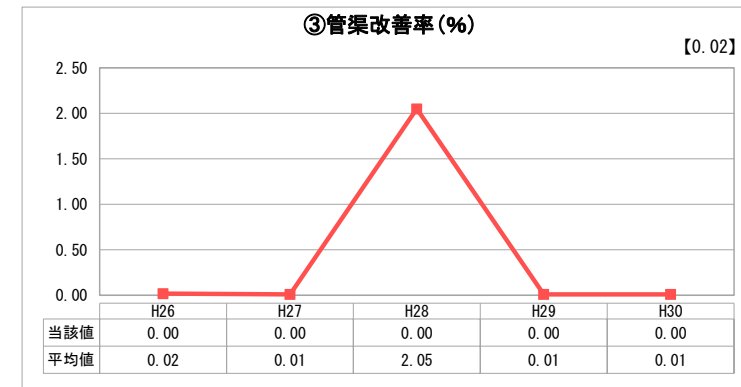
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
単年度収支がほぼ100%未満であり、経営改善が必要で
す。しかし、高い水洗化率や必要最低限の維持管理に努めてお
り、更なる経営改善は困難な状況であります。
- ④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均値と比較し、相当程度低く、現状での投資規模
や使用料水準などを維持していく必要があります。しかし、こ
れは一般会計繰入金金を財源としているためです。当該事業は、
極小規模な事業であり、他処理区との統合も物理的に不可能
であるため、この状況も止むを得ないと考えています。
また、企業債残高は年々減少しています。
- ⑤経費回収率
平成30年度は、下水道台帳整備を行ったため例年より支出
が増となり、類似団体平均値を下回っていますが、例年は、平
均値を上回っています。しかしながら100%を下回っている
ので経営改善の必要がありますが、水洗化率も高く極小規模な
事業で更なる経営改善も困難な状態であり、現状維持に努めて
いきます。
また、事業収入で賄えない必要経費に対して、一般会計より
繰入し補填していますが、現状は止むを得ないと考えていま
す。
- ⑥汚水処理原価
類似団体平均値と同程度以下であります。要因としては、施
設機器類の延命に努めていることや地下水位が低く不明水の浸
入が極めて少ないことが挙げられます。今後も、現状維持に努
めていきます。
- ⑦施設利用率
類似団体と同程度であり、今後も、現状維持に努めていきま
す。
- ⑧水洗化率
水洗化率は約99%で、未接続は高齢者世帯であり、1%の
未接続は止むを得ないと考えています。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率
管渠の最も古い施工年度が、平成7年度で平成30年度末で
23年程度の経過年数であり、実質改善不要であるため改善率
は0%となっています。
既存建築物に対する管渠整備も平成9年度に終わっていま
す。
また、腐食に弱いヒューム管比率は全管渠割合に対し0%で
あり、管渠管種からも現状では管渠改善不要となっています。
また、全管路及びマンホール内清掃を5年に一度実施してい
ます。

2. 老朽化の状況



全体総括

農業集落排水処理施設の経営としては、ほぼ平均的な施設で
あると考えます。
しかし、当該処理区域の全域が、農業振興地域に加え市街化
調整区域となっているため、新たな転入はほぼなく人口減少が
顕著となっています。それに伴う汚水量や使用料収入が減少し
ており、長期的に単独事業での経営は困難であると考えており
ます。
そのため、将来的に合併処理浄化槽に転換する必要があるか
と考えると、個々の宅地面積が狭い集落であり合併処理浄化槽
を設置することも不可能であるため、隣町との経営統合や他事
業との管渠の連結を検討していく必要があります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。